

英語をはじめとする先導的デジタル教材の開発

児童一人一台の情報端末環境のもとで使用する新学習指導要領に準拠したデジタル教材の開発
(教材の指導方法及び授業における活用場面の提案を含む)

開発するデジタル教材について

平成22年度総務省フューチャースクール推進事業の実証校において使用する情報端末で支障なく動作するデジタル教材を開発

	①小学校国語科	②小学校算数科	③小学校外国語活動(英語)
使用学年	第4学年及び第5学年	第4学年及び第5学年	第5学年及び第6学年
教材内容	各学年の教科書2単元相当以上(全領域の内容を踏まえること)	各学年4単元以上(スパイラル学習・振り返り学習のために必要な内容も付加すること)(使用学年前の内容を含む) 複数領域の内容を踏まえること	各学年の教材4単元相当以上
各教科共通で期待される機能例	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や画像等の拡大・縮小機能や音声・動画を提示する機能 ・学習履歴を適切に保存・蓄積し、必要に応じて電子黒板やコンピュータで把握したり、関係者による共有に資する機能 ・子どもが安全にホームページを検索できる機能 ・習熟度別学習に資する機能 ・授業の進行に応じた挿絵・図表・解法等の表示・非表示切替機能 等 		
各教科で期待される機能例	<ul style="list-style-type: none"> ・学級新聞など記事や資料の作成、割り付けに資する機能 ・漢字の筆順や正しい書き方の理解に資する機能 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・表・グラフ作成機能 ・図形や立体画像を作成、提示し、拡大・縮小・移動できる機能 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブスピーカーの朗読の音声や動画の提示 ・フラッシュカードを提示する機能 等
開発に当たっての配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の能力や特性に応じた学び(個別学習)における活用・子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学習(協働学習)における活用及び特別な支援を要する児童による活用に配慮すること ・子どもたちの一人一人の理解度やつまずきの内容に応じて教材が提示されるもの。特につまずきなどの課題がある場合に、可能な限りそれまでに学習した内容について振り返る機能を有するもの ・子どもたちのコミュニケーション能力や思考力・判断力・表現力・創造力・想像力等の育成に資するように配慮すること ・疲れにくい色の使い方など、児童の健康に配慮すること ・学習履歴等へのアクセス制限など、児童のプライバシーに配慮すること 		